

令和4(2022)年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)
代表者死亡等報告書(研究成果公開促進費)

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

令和〇〇年〇〇月〇〇日

研究機関の代表者・職・氏名

〇〇大学 学長 学振 一郎

機関番号	12345
------	-------

プルダウンより該当する「費目」を選択してください

令和4(2022)年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(研究成果公開促進費)の以下の事業において、下記のとおり代表者が欠けましたので、代表者に代わり報告します。

課題番号	交付決定額	費目
22HP0000	3,000,000円	選択してください

刊行物又はデータベースの名称	〇〇データベース	
代表者	氏名	所属部局・職名
	成果 太郎	〇〇研究科・教授

代表者が欠けた事由及びその年月日
(例) 代表者・成果太郎が死亡したため。
(代表者が欠けた年月日：令和〇〇年〇〇月〇〇日)

* 「データベース」については、「様式C-55-2別紙」に必要事項を記入の上添付すること。

補助金の使用状況

(1) 既受額額

(前期分) 3,000,000 円 …①

(後期分) 1,500,000 円 …②

(2) 使用額

(支出済額) 4,000,000 円 …③

(3) 未使用額

500,000 円 …④ (①+②-③)

様式 C-55-2 [作成上の注意]

1. この様式は、交付決定後に、代表者（補助事業者）が1人で行う補助事業において、当該代表者が欠けた場合に、研究機関代表者が作成し、日本学術振興会へ提出するものです。
2. 「課題番号」「交付決定額」欄には、交付決定通知書に記載の課題番号、交付決定額を記入してください。
「費目」欄は、該当する費目をプルダウンより選択してください。
3. 「刊行物又はデータベースの名称」欄には、交付申請書に記載した名称を記入してください。ただし、交付決定後に、事業計画変更承認申請書により刊行物又はデータベースの名称変更の申請を行い、日本学術振興会の承認を得ている場合は、変更後の名称を記入してください。
4. 「代表者が欠けた事由及びその年月日」欄には、代表者が欠けた具体的事由（死亡・失踪等）とその年月日を記入してください。
5. 「データベース」について提出する場合は、「様式C-55-2別紙」に以下の必要事項を記入し、様式に添付してください。
 - （1）既受領額：既に受領している金額を前期分・後期分と分けて記入。
 - （2）使用額：この申請書の提出時の支出済額を記入。なお、利子（預貯金利息）は含めない。
 - （3）未使用額：日本学術振興会への返還額を記入。